



日本共産党議員団 岩永 しほ子

小中学校の中後期再編計画

問 中後期でも前期計画の40人学級を基準にするのか

答 学級編制の変更は計画を判断する際の要素の一つで、時期的に未検討である。

問 前期計画を進める中、学校施設の改修などで子どもたちの学校生活にしわ寄せが生じている。中後期でもこのやり方が続くのか。

答 可能な限り学校運営、児童・生徒への影響を抑え取り組みをしたい。

区民の暮らしを守る施策

問 「住宅リフォーム助成」

答 1、2か月間の支払いが繋げず、苦しむ事業者の相談に応えられるつなぎ融資や制度を実施すべきでは。



民主クラブ 酒井 たくや

学校給食の公会計化

問 私費会計となっている給食費については、未納が社会的な問題となっており、食材の調達の問題、適正に支払っている家庭との不公平感などもある。成長期の子どもたちに栄養価の高い給食を安定的に供給するため、中野区としても学校給食の公会計化の研究を行っていくべきではないか。

答 公会計化によるメリットや経費、他自治体の動向などあらゆる観点から調査研究を行っていく必要がある。

緊急の資金需要に

答 緊急の資金需要に配慮する対策を都が実施しており、区はその情報を提供し、独自の対策を行う考えはない。

問 保育園の待機児は認証保育所を頼らざるを得ない。認証保育所誘致を掲げる区は保護者補助金を少なくとも一万円増額すべきでは。

答 区は一定条件の住宅増改築には、低利融資のあっせんなどを、また、耐震改修には工事監理費用の一部助成などを行っているが、個人財産の補修費用は個人負担を原則とし、リフォーム工事助成は考えていない。

問 1、2か月間の支払いが繋げず、苦しむ事業者の相談に応えられるつなぎ融資や制度を実施すべきでは。

区役所の移転・新築

問 区役所の移転・新築に

答 選書業務が民間委託予定だが、公共性確保のため行政で継続すべきでは。

問 委託後も区の基準で業務を行う。効率的な運営のため、着実に進めたい。

問 区役所の移転・新築に

答 選書業務が民間委託予定だが、公共性確保のため行政で継続すべきでは。

問 委託後も区の基準で業務を行う。効率的な運営のため、着実に進めたい。

要する事業費用は

答 現在の移転の検討段階で、お答えできない。

問 区庁舎は耐震性に問題があるのか。

答 耐震診断の結果では大丈夫と考える。

問 区の商店街地域コミュニティ等推進事業では3年の補助期間終了後は商店街に自立が求められ、実情は厳しい。区から働きかけた事業であり、必要な支援をするべきではないか。

その他の質疑項目

◆国民健康保険制度について

問 当初から補助終了後の自立を目的としており、引き続き、区は自立できるモデルづくりに協力したい。

問 国全体の生活保護費が3兆円を超え、自治体の財政を圧迫しているなか、社会状況の変化により、ケースワーカーの業務も多岐にわたっている。職員のメンタル面のケア、人材育成に力を入れるべきでは。

問 分野内での事例検討の中で、スキルアップとともに精神的な支えも行っている。



自由民主党議員団 高橋 ちあき

平成23年度予算の組み立て

問 23年度の一般財源規模は、特別区税と特別区交付金等の増で65億7千万円余と向上したが、歳出のうち投資的経費は142億9千万円余と89億円以上の増となっている。この増要因は。

答 投資的経費は大規模用地の取得、中野駅周辺整備や小中学校の施設整備の経費が増要因となっている。

問 投資的経費142億9千万円

問 投資的経費は大きく伸び、義務的経費全体で7・7%の増、これは経常的に支出する経費だが、増加要因は。

高齢者施策

問 高齢者が安心して暮らせる中野をつくるためには、地域の繋がりを取り戻すことが重要である。その取り組みの一つとして、高齢者への見守りの効果も期待できる「手渡し方式による救急医療情報キット」の配布を提案してきた。この配布をより効果的に進めるために、新たに推進員を任命し、事業展開してはどうか。

答 今後の支えあい活動の中で、導入の可否について検討していきたい。

問 23年度予算に5千件分のキット経費が計上されたが、必要な高齢者全てに手渡しできるよう、毎年増や

問 23年度予算に5千件分のキット経費が計上されたが、必要な高齢者全てに手渡しできるよう、毎年増や

生活保護費や障害者への給付等の増加、児童の保育委託が伸びた他、子ども手当を23年度当初予算に計上したことにより、約51億5千万円の大幅増となった。

問 22年度の生活保護の一人あたりの平均受給月額額は20万円を超え、23年度の生活保護費はさらに14億1千万円増となっている。こうした中、制度を悪用する受給者もいると聞く、重複診療のレセプトチェックなど、不公平がないよう、体制を整えるべきではないか。

答 職員増員や、電子化等の

問 区が進める長寿健診を受ける高齢者にもこのポイントを付与してはどうか。

答 ポイント制度の運用の中で検討していきたい。

HTLV-1対策

問 HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス)について区民にはあまり知られていない。母子健康手帳配付時に、抗体検査の啓発用のリーフレットを入れるように提案してきたが、区の検討状況は。また、区報などで周知を図るべきではないか。

答 母子手帳と同時に渡せ

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。



救急医療情報キット

生活保護費や障害者への給付等の増加、児童の保育委託が伸びた他、子ども手当を23年度当初予算に計上したことにより、約51億5千万円の大幅増となった。

問 22年度の生活保護の一人あたりの平均受給月額額は20万円を超え、23年度の生活保護費はさらに14億1千万円増となっている。こうした中、制度を悪用する受給者もいると聞く、重複診療のレセプトチェックなど、不公平がないよう、体制を整えるべきではないか。

答 職員増員や、電子化等の

問 区が進める長寿健診を受ける高齢者にもこのポイントを付与してはどうか。

答 ポイント制度の運用の中で検討していきたい。

HTLV-1対策

問 HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス)について区民にはあまり知られていない。母子健康手帳配付時に、抗体検査の啓発用のリーフレットを入れるように提案してきたが、区の検討状況は。また、区報などで周知を図るべきではないか。

答 母子手帳と同時に渡せ

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

がん対策

問 子宮頸がんワクチンの接種効果・副作用などについて、生徒や保護者が十分に理解することが重要である。

答 母子手帳と同時に渡せ

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。

問 エコ・支えあい・お買い物ポイントの交付方法は、シールを交付し、共通台紙にはり付け、金券や商品等と交換できるようにする。将来的にはICカードへの移行も想定している。